

富山大学の学際融合教育プログラム 「全学横断 PBL」

2020

University of Toyama : Design Thinking Education
デザイン思考 × 専門性 = 社会が求める人材



目次

はじめに 授業の趣旨	2	6. データから考える富山の特徴	16
タイムライン.....	3	7. 歴史・文化的視点による富山発見	17
プレ・レクチャー 趣旨 1	4	8. 『コンビニ』で、SDGs	18
プレ・レクチャー 2.....	5	9. 富山の未来観光を考える	19
プレ・レクチャー 3.....	6	10. 路面電車南北接続後の街づくりを考える.....	20
ミニ・レクチャー	7	11. これからの時代の新たな - シェア - を考える.....	21
授業風景 1	8	12. レジリエントなまちづくりを考える.....	22
授業風景 2	9	13. 里山の - 新たな境界 - をデザイン.....	23
各グループのテーマ一覧.....	10	14. 空き家・空き店舗を素材とした中心市街地の活性化 ..	24
1. ゴミを掌握！ - 環境に優しい社会を目指し -	11	15. 富山の名産を作る.....	25
2. 健康で楽しい「歩き」のデザイン	12	連携・協力企業団体	26
3. 地域資源の活かし方 - 『富山湾』 -	13	本学関係協力教員・実行委員	27
4. 『高齢者』の『楽しい』をデザインする	14	おわりに.....	28
5. 生活の中の「思いやり・優しい」をデザインする	15		

はじめに

「全学横断 PBL」は、全学部の学生を対象とし異なる専門教育を受ける学生達が混成チームを組み、デザイン思考による協働ワークショップを通じてイノベティブな課題解決を目指す授業です。個々の学部の中では狭くなりがちな視野や発想の幅を拡げ、異なる専門性を有する者同士のコミュニケーションがいかに重要で効果的なものであるかを体験的に学修するため、学内のみならず企業や行政とも連携し、産官学の協働によるクリエイティブなワークショップとなっています。

●授業の進め方について

共通目標は、「富山の地域循環共生圏」創りとし、関連した15のテーマに取り組んでももらいました。各テーマのグループは、他学部6人のメンバーで構成。

連携企業・行政、協力教員、授業担当教員は、通常は『先輩の生活者として』グループワークに参加。各日の午後に設けているコーヒータイトム（相談タイトム）においては、それぞれのブースで『専門家の立場として』各グループの相談に乗り、アドバイス。

※相談タイトムを有効的に生かすための参考情報として、事前に連携企業・行政、協力教員、授業担当教員には、自社・自身の専門やテーマに関連した相談・アドバイスできる事項・キーワードなど提出していただき、その一覧表を学生に配布。

2020「全学横断PBL」タイムライン

9月28日(月)		9月29日(火)		9月30日(水)	
8:00	スタッフ集合	8:00	スタッフ集合	8:00	スタッフ集合
8:20	受付開始(検温)【C-21】	8:20	受付開始(検温)【C-21】	8:20	受付開始(検温)【C-21】
8:45	オープニング(学長挨拶/15分)	8:45	全体説明(矢口/15分)	8:45	全体説明(矢口/30分)
9:00	全体説明(矢口/30分)	9:00	ミニ・レクチャー(45+5分) (北陸コカ・コーラボトリング/高倉氏)	9:15	移動 → 【図書館】
9:30	アイスブレイク(安江/30分)	9:50	移動 → 【図書館】	9:25	グループワーク(155分) ※昼食前に図書館のワークテーブル後片付け(スタート時に復帰)、私物等もC-21に持ち出す(20分程度)
10:00	移動 → 【図書館】	10:00	グループワーク(120分)		
10:10	グループワーク(110分)				
12:00	昼食 (終了後順次移動【C-21】に集合)	12:00	昼食	12:00	昼食 (終了後順次移動【C-21】に集合)
13:00	連携メンバー・教員の紹介	13:00	グループワーク(100分)	13:00	発表準備(60分) (G発表7分+質疑応答4分+入替え1分)
14:15	移動 → 【図書館】			14:00	最終発表-前半(60分)
14:25	グループワーク(60分)	14:40	コーヒーブレイク(相談タイム/60分)	15:00	休憩
15:25	コーヒーブレイク(相談タイム/50分)	15:40	グループワーク(80分)	15:15	最終発表-後半(120分) (G発表7分+質疑応答4分+入替え1分)
16:10	グループワーク(50分)				
17:00	移動 → 【C-21】	17:00	移動 → 【C-21】	17:15	閉会式(学部長挨拶/15分)
17:10	グループワーク(50分)(まとめ・振り返り)	17:10	グループワーク(50分)(まとめ・振り返り)	17:30	全体説明(矢口/15分)
18:00	解散	18:00	解散	17:45	振り返り・後片付け(15分)
18:15	シャトルバス出発	18:15	シャトルバス出発	18:00	解散
				18:15	シャトルバス出発

富山大学の学際融合教育プログラム「全学横断PBL」開講に向けた
Online Pre・Lecture to Design Thinking Education

オンライン プレ・レクチャー

「全学横断PBL」は、9月28日(月)～30日(水)までの3日間、集中講義で実施されます。開講に向け、学生の皆さんに参考にしていただき、本番までのモチベーションアップにつなげてほしいとの考えから、今回取組んでもらう下記のテーマ、共通目標である「富山の地域循環共生圏」に関連する内容の講演を、事前プログラム（3回のプレ・レクチャー）として企画しました。

プレ・レクチャー1

8.29(土)13:30～15:10

『商店街ポスター展』

日下 慶太氏

(株)電通 関西支社
ソーシャルデザイン局

商店街のユニークなポスターを製作し町おこしにつなげる「商店街ポスター展」の仕掛け人！



『エシカル消費』

若林 徹氏

富山県生活協同組合連合会
専務理事

多様な主体による連携強化・発展型の
消費者教育強化事業に取り組み、
特にSDGsや「エシカル消費」を推進！



富山大学 全学連携PBL
事務局プログラム

若林 徹氏

「エシカル消費」とは、「誰かの笑顔につながるお買い物」

つかう(責任) つくる(責任)

お買い物の時に「エシカル」な商品を買おう！

エシカル消費

もし、大多数の消費者が「エシカル」な価値を求めようになったら…
提供する側も、「エシカル」な商品やサービスが生まれています

未来へ続く世界の実現のために私たち生産者は、エシカル消費に積極的に取り組んでいます。

『Green Down Project』

長井 一浩氏

一般社団法人
Green Down Project 理事長

世界で初めて羽毛を循環させる仕組みを
確立し、将来にわたり多くの生活者へ安定供給を目指す！



富山大学 全学連携PBL
事務局プログラム

長井 一浩氏

Green Down Project について

私たち自身も「GREEN DOWN」を穿ります、
あなたのチカラが感動です。

Green Down Project

捨てないで！
モッタナイ！

11年「ダウン」の経験値が蓄かっています。
ダウンは、取りかえが簡単です。

『静岡茶ガールプロジェクト』

岩崎 美咲氏

(株)博報堂
クリエイティブプランナー

祖母の実家がお茶農家であったこともあり、今、ハマっていることは「静岡茶」を元気にすること！



『やさいバス』

桑原 秀平氏

(株)博報堂
ブランドイノベーション
デザイン局

アートディレクターとして自動車、食品、オフィス/通信等のクライアントの広告、ブランディング業務に従事！



オンライン講演の様子



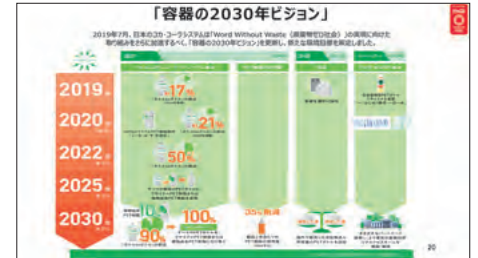
ミニ・レクチャー

集中講義中(2日目のワークショップ冒頭)に、講演会を開催。
進行中のグループワークに役立ててもらおう。

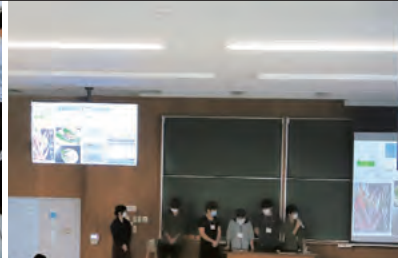
『循環型社会の構築とグローバル展開』

高倉 裕徳氏

北陸コカ・コーラボトリング株式会社
経営企画統括部統括部長







各グループのテーマ一覧

1. ゴミを掌握！ - 環境に優しい社会を目指し -
 2. 健康で楽しい「歩き」のデザイン
 3. 地域資源の活かし方 - 『富山湾』 -
 4. 『高齢者』の『楽しい』をデザインする
5. 生活の中の「思いやり・優しい」をデザインする
 6. データから考える富山の特徴
 7. 歴史・文化的視点による富山発見
 8. 『コンビニ』で、SDGs
 9. 富山の未来観光を考える
10. 路面電車南北接続後の街づくりを考える
11. これからの時代の新たな - シェア - を考える
 12. レジリエントなまちづくりを考える
 13. 里山の - 新たな境界 - をデザイン
14. 空き家・空き店舗を素材とした中心市街地の活性化
 15. 富山の名産を作る

1 ゴミを掌握！ - 環境に優しい社会を目指し -

日常生活に落とし込む
サスティナブルな
暮らしのシステム提案

ターゲット層：20代女性
若い世代は生活に自由に取り込みやすい！
SNSによる拡散力が大きい！
インフルエンサーになりやすい！

1

Entrance **おすそわけかふえ**

目的：フードロスの抑制、フードシェアの促進

レギュラーメニュー：スーパーなどで廃棄せざるを得ない食材・調味料を使用
日替わりメニュー（予約制）：規格外などの旬の野菜を用いる
→廃棄予定の食材のためコスト削減につながり、安価で提供可能

テイクアウト：my容器制度
・使い捨ての容器はゴミになるため使用不可とし、お客様自身の持参したランチボックス等に入れる
・同時にお店のブランドのタンブラーやランチボックスなどを作り、購入も可能にする

2

How to spread

①雑誌

- ・誰にでもできるサスティナブルな衣・食・住の特集
- ・カフェに置き利用者に読んでもらう

②セレクトショップ

- ・カフェに併設して展開
- ・マイボトルなどの日常に取り入れやすいグッズの販売
- ・ブランド化し、商品を利用客が買えることで広めやすい

③広報戦略

- ・Instagram 写真で環境問題にとりつきやすく
- ・LINE スタンプ・クーポン
- ・YouTube広告 カフェの紹介

④

- ④ 雑誌紹介、マスクの作り方
- ⑤ レンビ紹介
- ⑥ 環境問題に簡単に知り始める写真の工夫

3

カフェを入口として、
環境問題やサスティナブルな生活に取り組みようという
意識を広めるシステム

4

工学部：木原 真穂 芸術文化学部：和久田 美紅 都市デザイン学部：阿部 萌子／丸山 湧己／見上 有蘭／水戸 優香

2 健康で楽しい「歩き」のデザイン

解決策とねらい

	概要	ターゲット層
1	光るマンホールの設置	働くサラリーマン & インドアな人
2	「とほ活」アプリの活用	スマホを持っている人

- ・光るマンホールを設置することで、外出する1つの要因に！
- ・とほ活アプリの活用で「歩く」ことが習慣に！



☆普段段歩かない人たちが気づいたら歩いてしまっている状況を作る！

1

解決策1 光るマンホールの設置

光るマンホール

+ ※光るマンホールは、埼玉県所沢市で前例あり

さらに楽しさを加えられる！

AR機能、Bluetooth機能

☆AR機能

…スマホのカメラを向けるとマンホールに描かれたキャラクターが浮き出てくる

☆Bluetooth機能

…浮き出てきたキャラクターがその周辺の観光名所の説明をする



↑ iPhoneのAR機能より

2

解決策1 光るマンホールの設置

設置案

①夜景へ導くようなコース

- ・駅前から市役所展望台
- ・駅前から環水公園
- ・呉羽山公園展望台までの道

※コースによって光の色を変えるなどの工夫を行う

②夜道が暗い住宅街などの道

- 足元を照らしてくれるため、
安全面への配慮となる



↑駅前周辺のコース案
Google - Google マップ / Google Earth
透視図参照URL:
https://www.google.com/maps/@35.681111,139.767222,2000 (最終閲覧日: 2021年11月4日)

3

解決策2 「とほ活」アプリの活用

とほ活の改善案

- ①富山市だけでなく 富山県全体の情報が得られるようにする
- ②雨の日を ポイント3倍デー に変更
- ③賞品の抽選を廃止(全員がもらえる特典ではないため)
→ クーポン券を達成者全員にプレゼント
- ④とほ活のポイントに応じて得られる特典が変わる

4

経済学部：浜田 真帆 医学部：多田 望 都市デザイン学部：笹谷 香菜 / 二宮 秀 / 布施 竜亞

3 地域資源の活かし方 - 『富山湾』 -

富山湾の課題

高低差4000の恵み「景観・食材」などをはじめとした地域資源として魅力的なコンテンツは十分ある。

現状 魅力を活かし切れていない

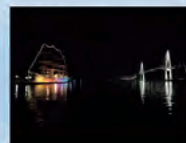
今後 観光資源として活用すべき！

<http://www3.nsknet.or.jp/~amaharasi/> 雨晴観光協会

1

ナイトクルーズ

海王丸パーク周辺・環水公園周辺の2コース
工場夜景・夜桜・花火などを船上で楽しむ
ファミリー、学生、短期観光客向け



<https://fugan-suijo-line.jp/> 富岩水上ラインHP

2

マイスタークルーズ

富山湾を1周するクルーズ

海から見える立山の美しさを堪能しながら食事
寿司職人や一流の和食料理店の職人が目の前で
調理した富山の幸を堪能



<http://www.toyamawan-sushi.jp/>

3

各イラスト : <https://www.irasutoya.com/> いらすとや

サブマリントアー

潜水艦に乗って深海1000mを目指して！
ゲンゲなどの深海魚ツアー、埋没林観察ツアーなど

実現すれば日本初！

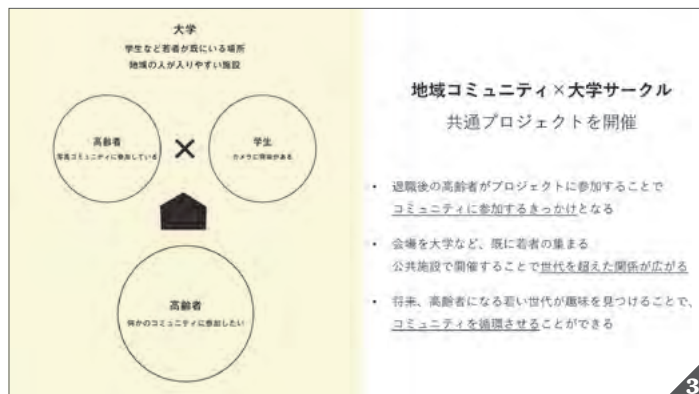
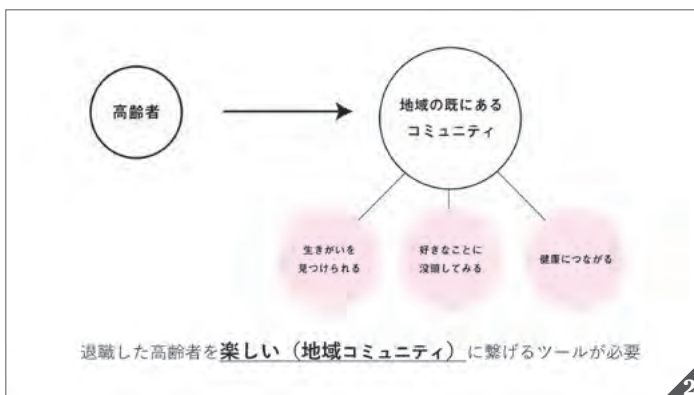
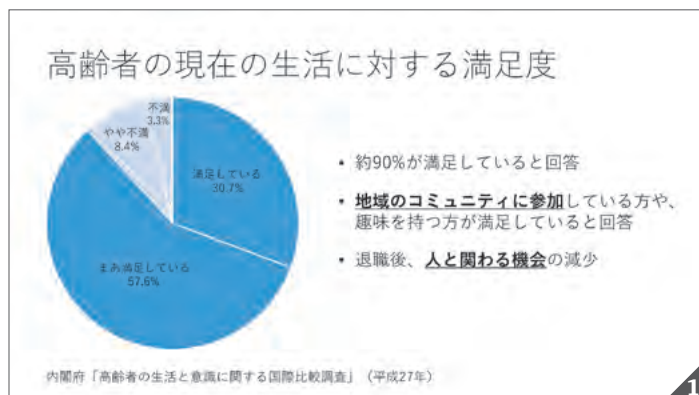


<http://saipan.kaigai.tabigeinin.com/submarine/> 寂愁のサイパン旅行 SAIPAN ブログ

4

経済学部：中谷 ひかる／稲垣 智也 都市デザイン学部：上田 尚輝／齋藤 尚人／出澤 高志／金岡 拓海

4 『高齢者』の『楽しい』をデザインする




5 生活の中の「思いやり・優しい」をデザインする

生活

障害者の富山大学五福キャンパスの学校生活
(車いすを必要とする人)

背景
思いやりや優しさについて考えたとき、「ユニバーサルデザイン」というキーワードを思い出し、特に私たち健常者の学生だけでなく、車いすの障害者の学生たちにも不便がなく同じような気持ちで過ごせるような環境をつくることはできないのかと思い、障害者学生の学校生活というターゲットに絞りました。



1

車椅子での大学における1日の生活を「共感」

車椅子の友達の1日の行動を深く想像しながら自分達でもシミュレーションし、そこからの気づきや発見を通して問題点を洗い出す。そして改善!!

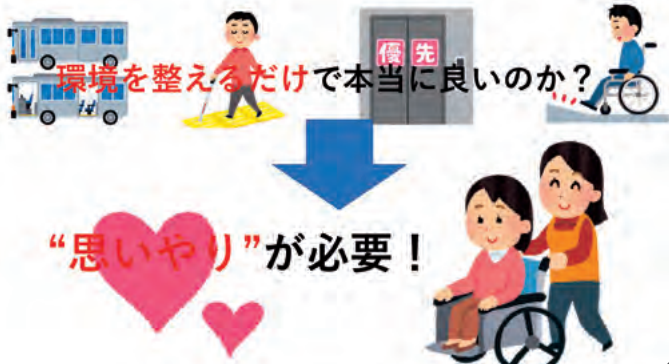
登校 → 移動 → 授業受ける → 移動教室 →
昼食 → トイレ → 移動教室 → 下校



2

環境を整えるだけで本当に良いのか？

“思いやり”が必要!



3

まとめ

障害者の生活の中の思いやり、優しいをデザインする上で、

- ・不便のないようにさりげなく優しさを加えてあげること
- ・手助けするのが当たり前という意識を持つこと

が大切!!

今後思いやりの意識を変えていくこと
介護体験や小さい頃からの教育を変えていくなど

4

6 データから考える富山の特徴

●「テーマ」の取り組みにあたり、目的とターゲット設定！

目的： 富山県の社会増減を増加

ターゲット： 就活を控えた若者 (Iターン、Jターン)

意外と浸透していない富山の特徴をデータにより明確化

1

● 新卒社会人が移住の際に考える条件の絞り込み！



2

● “RANKを用いた合計値で評価する方法”！

様々な評価方法の中から、各項目を都道府県別にランクをつけ、その順位を合計した値が最も低い値が今回の指標において適しているとする。

都道府県	項目	15歳以上人口に占める割合		15歳以上人口に占める割合		順位合計
		15歳以上人口に占める割合 (平成27年)	15歳以上人口に占める割合 (平成27年)	15歳以上人口に占める割合 (平成27年)	15歳以上人口に占める割合 (平成27年)	
富山	実働率	55	50.8	24.2	27	
	順位	7	8	14		

結果

順位	都道府県	順位合計
1	富山	70
2	福井	118
3	石川	149
4	新潟	158
5	長野	234
...
43	奈良	599
44	愛媛	601
45	徳島	631
46	和歌山	665
47	高知	693

3

● 考察

グラフからランキングの合計値が小さいことと現状が伴っていないことについては以下の4つが考えられる。

1. 私たち選んだ要素が実際に居住地域を選ぶ上で深い関わりがない
2. 加えるべき項目がある (初任給など)
3. これらの整った環境であることがあまり知られていない可能性がある
4. それぞれの項目ごとに関係深さを考慮していないことによる結果である可能性がある

4

経済学部：町 喜里 都市デザイン学部：越川 裕太/土井 駿仁/佐々木 駆/加納 諒也

7 歴史・文化的視点による富山発見

歴史的視点から 「石川コンプレックス」

戦国時代に富山県を統治していた佐々成政が敗北し
領地の半分が前田家に支配された。

その後も「石川に領地を奪われた」史実から
富山県民は「石川コンプレックス」を抱えていると推測

1

懺悔系 Vtuber 成政



2

Vtuber 成政

富山ゆかりの戦国大名・佐々成政が
富山県民が持つコンプレックスを
心の中のネガティブ成政 (ネガまさ)
とポジティブ成政 (ポジまさ)で
紹介・解消していくチャンネル



3

自己紹介から始めっちゃ



4

芸術文化学部：秦 千里／八島 綾香 都市デザイン学部：草野 優一郎／佐藤 大河／山本 俊輔

9 富山の未来観光を考える

ビジョンとゴール

♥ 富山の人が富山を知り、愛着を持つ ♥

これからの時代を生きる若者の、
今、富山にいる人が地元を知らずにいては、
他県や世界に魅力を発信することすらできない。

2020年度編修PBL 1

コンセプト

富山愛が少しでも芽生えることで
未来の富山観光の発信源となる
人材を育てる

ターゲット

富山大学の学生

どこかに行くのもめんどくさい、お金がない
富山に住んでいるけど、富山観光に行ったことがない

2020年度編修PBL 2

9. 富山の未来観光を考える

科目名 / Course title	ラジデ観光できる年
担当教員 (所属) / Instructor	経済学部(都市デザイン学部) 澤田 聡希(都市デザイン学部) 坂東 晃紀(都市デザイン学部) 大野 志遠(経済学部) 石田 鈴奈(芸術文化学部)
授業科目区分 / Category	専門教育科目 専修共通科目
授業科目 / Type of class	演習科目
授業科目コード / Registration Code	20200930
C.O.C+科目 / C.O.C+Course	富山県有資格者
半平成28年度入学者から適用	
時間割コード / Registration Code	20200930
ナンバリングコード / Numbering Code	daiagaku02toyemakuriner1
開講学期 / Semester	前期集中講義
開講曜日 / Class period	あつという曜日の1-5時
対象所属 / Eligible Faculty	工学
対象学年 / Eligible grade	1-4年
単位数 / Credits	2単位
教室 / Classroom	研修室301
連絡先 / Contact	toyema@daiagaku.jp
オフィスアワー / Office hours	いつでもどうぞ
更新日 / Date of renewal	2020年9月30日
授業のねらいとカリキュラム上の位置づけ (一教単修科目) / Course Objectives	富山の魅力について学びつつ、写真の撮影方法および発信方法についても学んでいく。 最終日には実際に富山市内の観光地に行き、その魅力を発信するとともに、最終の2日間で学んだことを実践する。
達成目標 / Course Goals	「富山県の歴史」「自然科学」「富山県」「芸術文化」等、事について理解する 個人やグループで調べ、かつ富山らしい魅力の伝わり方を知ることが出来る -Instagramを用いて情報発信する -観光地の活性化にどういった影響を、地域社会に与える 未来の富山観光のために、若者の富山への愛着を持ってもらうきっかけづくりをする授業です。
授業計画 (授業の形式、スケジュール等) / Class schedule	1日講 第1-5講 富山の魅力を知る 第6-10講 富山県、芸術文化、食の様々な分野の観光スポットを地理的・人から紹介してもらう。 第11-15講 写真の撮影と発信 写真の基礎を学び、他の魅力を引き出す写真の撮影を体験する。2日目の観光地の決定。 3日講 第11-15講 「実習」魅力を見出し、発信 複数のグループに分かれて、実際に観光スポットを訪問する。魅力を再発見し、またそれを発信する。
授業時間外学習 (事前・事後学習) / Independent Study Outside of Class	【事前】Instagram等のSNSの使用方法を理解する。課題で取り扱う観光地を選択するために、課題前に事前アンケートを実施、回答の中での数が多いところや場所の写真を一覧提出する。 【事後】場所の次に富山県の観光地に来てもらうために、どうすればよいかを考える。観光地が観光客には何が重要かを考える。Instagram等のSNSで、課題で得た魅力を発信する。
キーワード / Keywords	カメラ技術、発露力、様々な観光地を回る、撮影練習、富山愛を育む

3

10 路面電車南北接続後の街づくりを考える

路面電車を変えたい!

今までは…

- ①車内アナウンスが面白くない
→沿線情報がつまらない…
- ②路線図がとても分かりにくい
→利用者にとって使いづらい…

↓ **こう変えたい!**

- ①おもしろスポットの紹介
→軌道の切り替わりポイント、
沿線の歴史・観光情報を加える
※地元の有名人を声優に!
- ②ユニバーサルデザインの路線図
→駅ナンバリングの廃止、
ラインカラーは太く描く



理想の路線図

1

自転車レンタルサービスを変えたい!

今までは…

- ①設置場所の問題→必要な場所に過少供給(例:駅北)、
不必要な場所に過大供給(例:大学周辺)
- ②利用する際の問題→窓口で申し込まねばならない
→初見の方にとって、とても使いづらい

↓ **こう変えたい!**

- ①適切な設置場所→(例)富大前の駐輪場を撤らしその分を駅北側に設置
 - ②貸し出しの簡略化→(例)ネット申込の実現、パーキングメーター設置
- ★アプリ「とほ活」との連携も合わせると効果的!

例えば…

シクロシティのパーキングにQRコードを設置し、
レンタル時と返却時に読み込むことで、
パーキング間の距離をポイントに換算する など

<https://www.irasutoya.com/2015/09/qr.html>

2

「とほ活」で街づくり&健康促進

- ①北エリア・南エリアの散歩コースまで、
路面電車やシクロシティ(自転車レンタルサービス)を使って移動



<https://photohito.com/photos/9434875/>



<https://cyclocity.blog.fc2.com/blog-entry-243.html>



<http://www.cyclocity.jp/NEWS>



<https://tohokatsu.city.tohama.jp/>

- ②「とほ活」を使い、ウォーキング開始

- ③疲れたら休憩・リタイアできるようにする
→散歩コースに「〇〇駅まであと何m」
のようなキロポストを設置し、距離を可視化



<https://blog.goo.ne.jp/shirousai/e/2da1e80c8bf9f9d4d702c3c66228c5>



<https://trp.ne.jp/info/169170557300000899/>

3

「ライド・アンド・ライ」の実現へ

目的地の周辺まで路面電車で行き、そこからは
レンタサイクル(シクロシティ)で目的地まで行く。
→路面電車に乗り(ライド)、かつ

◎これを行うことで・・・

- ★路面電車だけでは行けない場所へ簡単にに行けるようになる
→南北だけでなく、東西の接続が可能に!!
- 富山市にさらに一体感を及ぼし、富山市の目指すコンパクトシティの実現に!
- ★電車・自転車移動がメインになり、エコな都市となる
→環境未来都市の実現に!

⇒富山市の目指す街づくりに着実に近づいていく!!

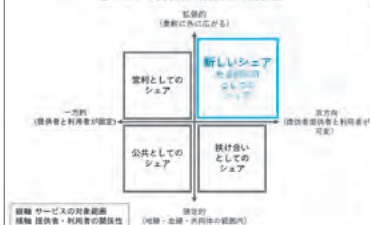
4

11 これからの時代の新たな「シェア」を考える

富山で傘のシェアサービスを提案する

基本的な「シェア」の考え方

各シェアの提供者と利用者の関係性*



傘シェアサービスについて

背景 突然雨が降ってきたが傘を持っていないとき、その場しのぎで傘を購入していらなくなったら捨ててしまった経験はないだろうか。傘が大量に捨てられることで環境問題につながるケースがある。



傘のシェアサービスを通して、傘の廃棄による環境問題への対策をすることで、そして傘を忘れても必要なときに傘を借りることができることで暮らしやすいまちをつくることを提案する。

* 「いよこま総研」(シンポジウム「シェアエコノミー」) 東信総研 デジタルサワートゥコンディショニング(2019) p.454-459 抄

1

最初に限定された範囲で試験運用する

サービス導入の過程



- ① 富大五福キャンパス内での試験運用
- ② 公共交通機関と併用
- ③ 富山市内への拡張

導入の過程を三段階に分けて検討しながらサービスを構築していく。

① 富大五福キャンパスでの試験運用

目的 傘シェアサービスのニーズの把握、サービスシステム構築のための情報収集

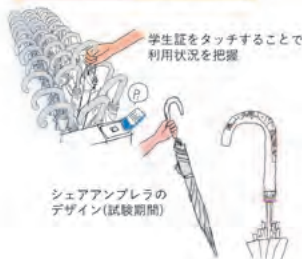
ターゲット	富大生など
料金設定	試験1年目 無料 試験2年目 1日 ¥50
デザイン	傘の柄に学部カラーや施設番号を記載し、傘の移動を把握しやすくする

傘は各学部棟など多くの施設に配置する

2

試験運用を踏まえて規模を拡張

① システムなどのデザイン案



② 公共交通機関(路面電車、アヴィレ)との併用

①での試験運用を踏まえて富山市内への導入を始める。路面電車やアヴィレとの併用で市内でのニーズを把握する。

ターゲット	路面電車で通勤・通学する市民や学生(電停から学校までの間) 観光客やアヴィレ利用者
料金設定	他県の例を参考に1日 ¥50 ecomyaの利用
デザイン	完全に新たな傘を使うのでより一貫性のあるデザイン
新たな傘のコスト	広告費や行政資金でまかなう

3

傘シェアサービスを更に広げる

② 傘設置場所のイメージ



③ 富山市内への拡張

これまでの段階を踏まえ、将来的には富山市内で使用可能にする。

今後の展望

- Suica等の全国ICカードで利用可能にする。
- 他の交通機関との連携、商業施設や公共施設等へ設置場所を増やす。

4

12 レジリエントなまちづくりを考える

レジリエントとは

- 一般的には土木分野で「自然災害に対するインフラの復旧・復興力」という意味でよく使用される
- 「社会課題に対する柔軟な対応力」とも言い換えることができる
- 今現在対処しなければいけない「社会課題」とは
⇒ **covid-19**

1

住みよいまちづくりに必要な要素

安心・安全・快適→住み心地

交通、健康福祉、防災、経済、環境、エネルギーの要素が欠かせない

まちのなかのインフラ設備の充実

人に訪れたいと思わせることで関係人口が増加
→経済活性化へ



2

新たな時代への変化

- コロナ流行に伴う世間のリモート化
→スマートシティ(先端技術:IoT,ICT,AIなどを十分に活用したまちづくり)の推進に拍車がかかる
- 例) ・リアルタイムで情報が得られる防災マップ
(被害状況や渋滞情報なども一度に見ることができる)
・自動操縦などを利用した新モビリティの出現(交通安全の充実)

3

レジリエントなまちづくりに必要なもの

まちに対する内外部からの影響(課題)は常に存在し続けている(予測不可能)

↓
何度も繰り返す危機を乗り越えていくことで強靱なまちがつけられていく

↓
レジリエントが求められる場面は複数存在する

↓
その度にレジリエントな対処を考えていくことが「レジリエントなまちづくり」である

4

人間発達学部：中島 颯大 芸術文化学部：北越 未侑 都市デザイン学部：青島 美穂／菊池 駿輔／高 将貴／稲垣 航大

13 里山の - 新たな境界 - をデザイン

従来の里山の分布



里山は明確な境界はなく、山と人里の境界をぼやかす存在である

1

「新しい里山」の分布



・キャンプ場を「新しい里山」として設置
 ・荒れ果てた農地を再開墾
 ⇒ 人を呼び込むことにより
問題解決の糸口となる

2

里山内の循環づくり



3

- ・明確な土地分割による鳥獣被害の減少
- ・新たな価値の創造 + 外部の人たちの価値観の再構築
- ・人里暮らしの質向上

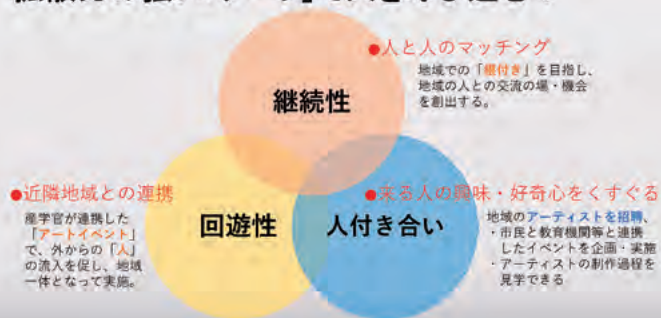


持続可能で人と自然が共存可能
人の営みの確立という境界による問題解決へ

4

14 空き家・空き店舗を素材とした中心市街地の活性化

拡散力の強い「アート」で人を呼び込む！



空き家活用

生活を支える施設を周辺の空き家に設ける

例：1F；シェアオフィス 2F；シェアハウス
→地域に開けた場所であるとともにこれからのニーズに対応
中心市街地の限られた土地の効率的活用
託児所、カフェ：雇用の創出
働き方の多様性の創出

空き家を活用した地域の「住みやすさ」の提供

2

想いと場所のマッチング

現状： 空き家バンクでの「場所」のみの情報提供
→ 地域内で必要とされている事業が何かわからない

改善策： 空き家の場所 + 事業例の情報提供

より具体的な情報提供により、マッチングの確率が上がる。

3

想定される未来



芸術文化学部：斎藤 靖葉 都市デザイン学部：池高 誠哉／望月 ちほ／十田 拓実

15 富山の名産を作る

コンセプトの設定

富山独自の文化&若い人にも受けそうなものとして「かまぼこ」という案ができました。 左: https://colocal.jp/topics/lifestyle/local/20190618_126149.html
右: <https://www.info-toyama.com/s/spot/60099/>



- ・富山県外出身の人にとって見たことない、富山ならではのもの
- ・婚礼のひきでものとして近所におすそわけする文化があった

かまぼこを名産として売らせてそう！

1

かまぼこをテーマにブランドを立ち上げました。

とやまの
かまぼこ

TOYAMA no KAMABOKO

2

ののの
TOYAMA no KAMABOKO



商品名: ののの

渡したい人: 購入者の家族

予想価格: 1000円

アピールポイント

- 色々な富山の名産の味が楽しめる
- お酒のおつまみとして味わえる
- 県外の人にとって目新しさがある

ウィークポイント

- 手間がかかる

3

でこぼこ



商品名: でこぼこ

渡したい人: SNSを利用する若者
子ども

予想価格: 2000~3000円

アピールポイント

- 富山の名物をかたどった詰め合わせ
- 見た目によってSNS映える
- 渡した後の会話まで楽しめる

ウィークポイント

- 職人に負担がかかり、大量生産が難しい

4

人文学部: 柴田 菜江 経済学部: 山口 なつみ 芸術文化学部: 五十嵐 悠/太田 未優/笹木 梨花 都市デザイン学部: 小野 有紀

●連携・協力企業団体

富山市：環境部環境政策課／福祉保険部福祉政策課／企画管理部未来戦略室／活力都市創造部都市推進課／企画管理部企画調整室
公益財団法人 富山市ファミリーパーク
NPO法人 きんたろう倶楽部
NPO法人 まちづくりスポット
一般社団法人立山黒部ジオパーク協会
安達建設株式会社
有限会社アダチ不動産
アルカスコーポレーション株式会社
住澤塗装工業株式会社
宮越工芸株式会社
長岡工業株式会社
有限会社hs style
北栄電設株式会社
株式会社コージン
TSK株式会社
NPO法人 富山応援隊
北陸コンピュータ・サービス株式会社
北陸電力株式会社
株式会社能作
北陸ココロラボトリング株式会社
株式会社電通西日本富山支社

株式会社電通関西支社
株式会社北陸博報堂
株式会社博報堂
富山県生活協同組合連合会
一般社団法人Green Down Project
社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会
青年海外協力隊 富山県OB会
TENKIN NOTE「転勤ノオト」
富山地方鉄道株式会社
富山大学生生活協同組合
三井住友海上火災保険株式会社
NPEC
株式会社UACJ R&Dセンター
大平洋製鋼株式会社
YKK AP株式会社
三協立山株式会社
富山県農林水産総合技術センター食品研究所

● 本学関係協力教員

富山大学学術研究部芸術文化学系	奥 敬一 教授	富山大学学術研究部都市デザイン学系	濱田 篤 准教授
富山大学学術研究部芸術文化学系	岡本 知久 講師	富山大学学術研究部教育研究推進系	塩見一三男 准教授
富山大学学術研究部人文学系	大西 宏治 教授	富山大学学術研究部教育研究推進系	尾山 誠 准教授
富山大学学術研究部経済学系	高桑 幸一 客員教授	富山大学地域連携推進機構地域医療・保健支援部門	
富山大学学術研究部理学系	張 勁 教授	藤村 裕子 コーディネーター	
富山大学学術研究部理学系	横畑 泰志 教授	桜美林大学ビジネスマネジメント学群	
富山大学学術研究部都市デザイン学系	川崎 一雄 准教授	渡邊 康洋 教授 (富山大学名誉教授)	

● 実行委員

富山大学学術研究部都市デザイン学系	渡邊 了 教授 (学部長／実行委員長)
富山大学学術研究部都市デザイン学系	矢口 忠憲 教授 (副実行委員長／授業担当)
富山大学学術研究部都市デザイン学系	佐伯 淳 教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	安江 健一 准教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	並木 孝洋 准教授

【授業担当教員】

富山大学学術研究部都市デザイン学系	立石 良 准教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	堀田 耕平 助教
富山大学学術研究部都市デザイン学系	金山 洋一 教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	本田 豊 教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	高柳百合子 准教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	猪井 博登 准教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	王 永成 助教
富山大学学術研究部都市デザイン学系	西村 克彦 教授
富山大学学術研究部都市デザイン学系	松田 健二 教授

おわりに

富山大学では、これからの社会に求められる人材のスキルの一つとして、学際融合教育プログラム、デザイン思考によるイノベティブな協創力を上げています。このスキルは全ての学部学生の必須要件であることから、「全学横断 PBL」の科目が全学部の学生を対象として設計され、本年度初めて夏期集中講義で開講される運びとなったところです。また、この教育プログラムは応用展開として現在行っている大学院改組の中にも取り組まれています。

この「デザイン思考」によるイノベティブな問題解決・提案は、学年進行に伴い学部から大学院へ繰り返し体験を重ねスキルアップしていくことが大切であることは言うまでもありませんが、何よりも地域の皆様方と連動させていただきながら、実際の現場で発見した真の問題を皆の柔軟な発想で具現化し、それをまた現場に落とし込んで検証するといったプロセスを繰り返すといった実際の体験が重要なのであります。

この度は、私どもの趣旨をご理解賜り、ご協力いただきました企業や行政、他学部の教員の方々には、この場をお借りして感謝申し上げます。本授業は来年以降も継続して開講されます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

